【授業科目】精神看護学実習　　Psychiatric Nursing Practicum

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
松田 陽子、大西 信行	３年次 後　期	必　修	２	９０	実　習	あり	巻末 掲載	否

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／精神看護学で学んだ知識・技術・態度を統合し、自己洞察と対象の理解を深め、看護が実践できる基礎的能力を養い、健康の保持・増進における精神看護の役割と機能を理解する。 　本実習では、精神科病院に入院している対象者を受け持ち、治療や療養生活に合わせた看護を展開する。実習中には、カンファレンスや個別 SV を通し、対象理解、自己に対する課題を明確にする。また、地域における保健・医療・福祉の協働を学ぶため、就労継続支援事業所などにて、対象者との関わり・カンファレンスを通し、地域精神医療福祉の役割について理解する。 課題に対するフィードバック方法／毎日提出された記録用紙にコメントを記入しフィードバックする。カンファレンス時に適宜必要な内容はグループ全体にフィードバックする。必要に応じグループスーパービジョン、個別スーパービジョンを実施する。
実務経験に関する 授業内容	看護師の臨床経験を持つ教員が、看護師として必要な精神看護の知識・技術ついて、学生とともに実践の現場にて指導を行う科目である。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	1. 精神疾患をもつ対象者を理解することができる。 2. 精神の 健康問題が生活に及ぼす影響を理解し、対象者の状態に応じた援助を考えることができる。 3. 治療的コミュニケーション技術を活用して、看護援助を行うことができる。 4. 自己と対象の理解を深めるために、自己の内面の変化に気づき、自己洞察を行うことができる。 5. 継続看護の視点で、対象者をとりまく地域の精神保健医療福祉と社会復帰活動の役割と機能について考えることができる。
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	※詳細については、実習要項を参照してください。
授業計画	・実習期間は、令和７年９月８日～令和８年２月 27 日のうち 10 日間 ・実習時間は、原則として、9：00～17：00 ※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション時配布資料を参照してください。 松田、大西
評価方法 評価基準	実習内容60%、記録40% ※詳細については、実習要項を参照してください。
学生への 助言等	・実習は休まずに出席することが最も大切です。 ・実習中は、これまでに学んだ知識をもとに対象者の方との関わりを通し、置かれている環境や本人の思いを理解し、看護過程の展開・実践を通して、対象者の理解を深めます ・実習中は、自主的に学びを深め、主体的に実践に取り組んで学びを深めていきましょう。 ・事前学習として、リカバリーやストレングスの視点について学習を深め、実習の関わりを通して精神疾患の方への支援を考えていきましょう。 ・教員や指導者も、皆さんと一緒に学びを深めていけることを楽しみにしています。